



2020 年 2 月 6 日（木）発行

【 思い出いっぱいの修学旅行、そして 3 年生 O 学期始動 】

1 月 21 日～24 日にかけて、高校生活のビッグイベントである修学旅行に行っていました。怪我をした生徒や体調不良者も出ましたが、心配していたインフルエンザ発症者はなく、全員無事に 4 日間過ごして戻ってくることができました。オプションツアーや竹富島観光でもまぶしいくらいの笑顔を見せてくれた 36 回生でしたが、やはり 3 日目の夜の学年レクリエーションでは各クラスの団結力、そして 36 回生のここぞというときの底力を発揮してくれました。

また 27 日の学年集会では、今回の修学旅行の成果と共に反省点も確認しました。たくさんの思い出や成果と今後の課題を胸に刻み、3 年生 O 学期を気合いを入れてスタートさせましょう！

【 修学旅行を振り返って 】

《修学旅行実行委員長より》

修学旅行実行委員長 2 組 太田匠紀

今回の修学旅行では委員長という大役を任せられ、いつもとは違う視点で修学旅行を見ることができた。委員長としての仕事は少なかったが、時間を守ることや話を聞くことは今までの行事よりも、自然と神経質になっていたところがあったと思う。一番大きな仕事であった学年レクリエーションの司会では、準備から片付けまでの工程を自分が頭に入れた状態で動いたので、周りの人が自分勝手な行動をしているのを見るとイライラすることもあった。でも今思えば、周りの人も巻き込んで行動する、周りを引っ張っていくのが自分の仕事だったのだと思う。また、先生がいつも怒っている理由が少しだけわかった気がする。今回の修学旅行は“ただ楽しい行事”でなく、自分にとって意味のあるものになった。僕だけでなく、みんな一人ひとり成果と課題が得られた修学旅行になったと思う。それらを今後の学校生活に活かし、よりよい 36 回生という学年集団に高めていきましょう！

今回の修学旅行は今までで一番楽しく思い出に残るものになりました。特にレクを通してクラスのみんなと仲良くなれた気がします。レク当日まで放課後や空き時間を使って練習をしたことがすごく良い思い出になりました。自分は表に出て踊ったわけではなかったけど、精一杯音響などをしてミスなく流すことができ、みんなが楽しそうに踊っているのを見るのはすごく幸せでした。これから放課後練習できないのが少し悲しいくらいです。思い返せば尽きることない修学旅行は一生の思い出になりました。もう一度行くことができないのが本当に寂しいくらい楽しかったです。行って良かったと思いました。まだまだ余韻は残っていますが、しっかり切り替えていきたいです。



(1 組 男子)



修学旅行は本当に楽しく、色々なことがありました 4 日間だった。仲良い子とはもちろん、普段話したことのない子ともいっぱい写真を撮ることができ、今までずっと練習してきたレクを成功させられたことがとても嬉しかった。頑張ってきて良かったと思えた瞬間だった。行ったことのない場所に行き、初めての体験を最高の仲間とできて本当に良かった。行事の度に思うけれど、今まで以上に 1 組のみんなと仲良くなれたので、3 年生でクラスが離れることが今からとても寂しい。それでも、高校生活で一番記憶に残る出来事を 36 回生のみんなと過ごせたことが嬉しく、今までで一番早く感じた 4 日間だった。(1 組 女子)



僕は飛行機も沖縄へ行くのも初めてで、初日はそのことで頭がいっぱいだった。テレビのドキュメンタリーで飛行機事故の特集を見ていたのもあり、内心とても怖かったのを覚えている。しかし、行き帰りの計4回何事もなく無事戻ってこられて良かった。沖縄到着後最初の感想は「とにかく暑い！」蚊がいたことも驚いた。2日目、マリンスポーツ。とにかく海が綺麗。その海上でバナナボートが高速疾走する爽快感、たまらなかった。3日目、学年レクでは他クラスがとにかく格好良い。

特に1、3、5組の男子のダンスの完成度が高すぎて、それを見ている女子の奇声、その時の2組男子は満場一致でレクを辞退したい、それ一心だった。本番では他クラスに比べて完成度はあまり高くなかったが、予想以上に盛り上がり、良かった。この4日間はとても充実していてよい経験ができた。気持ちを入れ替え次は受験に向けて頑張りたい。

(2組 男子)

修学旅行に行く前は、とにかく不安しかありませんでした。約2年間高校生活を送ってきた中、未だに慣れないことも多く、楽しく過ごせるかが心配でした。そんな私を支えてくれたのは母でした。悩みを聴き、的確なアドバイスを送ってくれました。私はそんな母の言葉や一緒にいてくれた友達やスタッフの方々など多くの方の支えがあって無事修学旅行を過ごせました。みんなに「ありがとう」という感謝の気持ちでいっぱいです。小学校・中学校とはまた違った良い修学旅行の思い出ができました。今回得た成功と失敗をこれからの生活に生かすため、3年生0学期としてけじめをつけて努力したいです。

(2組 女子)



人生最後の修学旅行、正直こんなに楽しくなるとは思いませんでした。36回生みんなと仲良く3泊4日過ごせて良かったです。那覇に着き、一息目を吸った瞬間全然違いました。温度も湿度も何もかも。3日目の学年レクリエーションは、「やっと来た！」という感じでした。緊張しましたが、最高のボルテージの中で踊ることができました。本当に楽しくて、今まで練習してきたことを思い出すと、終わってしまうことが悲しく、寂しくなりました。でも、人生で一度しかないこの思い出でモチベーションを上げ、勉強や部活動を頑張っていきたいと思います。神戸に戻り、最初は寂しい気持ちしかありませんでしたが、やはり

日々の生活には感謝することがいっぱいでした。この修学旅行は絶対忘れません。

(3組 男子)

私は修学旅行で初めて飛行機に乗ったので、飛ぶ前は少し怖かったです。石垣島に上陸し、着いたホテルは本格的なリゾートホテルで、これからここで泊まれると考えたらワクワクしました。2日目は竹富島でサイクリングをしました。途中でお墓を見ました。大規模なお墓で驚きました。この日、お昼ご飯を3羽のカラスに食べられてしまいました。好きな物を残していたのにとっても悲しかったです。3日目、仲間川クルーズでマングローブ林に行きました。川から木が生えていたり、初めて見るものばかりで、ここは本当に日本なのかと疑ってしまうほどでした。そして、島でガトーショコラを食べていると、再びカラスに襲われました。まるでジュラシック・パークにいるような感じでした。このような波乱万丈の4日間でしたが、神戸ではできない貴重な体験がたくさんできて楽しかったです。(3組 女子)

旅行の準備をする時、あと2か月で3年生が始まってしまうんだと思い、おもいっきり楽しんでやろうとスーツケースを閉めました。修学旅行中は、学年目標の「協働し主体的に学ぶ」ことを意識して過ごしました。「協働」という部分では、部屋では各自が時間と予定を意識し合い、クラスではレクの準備時間が全然取れず一発勝負でしたが、無事成功しとても良いクラスレクになりました。また、有志も学年を盛り上げるため、最高のパフォーマンスをしてくれました。「主体的」という部分では、なるべく自分から挨拶しました。特にバスの運転手さんには丁寧にお礼を伝えました。自由時間では、なるべく沖縄らしさを感じようと、ジーマ豆腐を食べたり、魚屋のおばちゃんやと仲良くなったり、また来たいと思える修学旅行になりました。

(4組 男子)



修学旅行は、すごく楽しい充実した時間になりました。一番楽しかったのは那覇観光です。今まで話したことがなかった人とも話したり、写真を撮ることができて良かったです。国際通りでは、見たことがないような面白い名前のお菓子や食べ物があったり、普段生活している神戸とは、食べ物の味の濃さや住居の形、ほとんどの屋根の上にシーサーがのっていることなど、全然違うなと感じました。観光をして思ったことは、想像していたより沖縄の人がテキパキしているということです。テレビで沖縄の人は「なんくるないさ〜」とずっと言っているイメージがあったので、現地のことは現地に行って自分で体験しないとわからないものなんだと改めて感じました。レクはいろいろありましたが、最後はすごく楽しめました。今回のレクで、前に立ち自分の口でみんなに伝える立場になって、その難しさを感じたのと、みんなと協力して何かをすることの大切さを学びました。これから同じような機会があれば、いろんな人の意見を聞いて、自分の意志を持ってちゃんと言葉にできるようにしたいです。

(4組 女子)

レクリエーションではクラス全体が協力して主体的に取り組めたと思う。出発の2週間前から男女に分かれてダンス練習を始め、振付を覚えたりスムーズに踊るのにすごく苦労したが、周りの動きを観察したり実際にマンツーマンで教えてもらうことによって、通して踊れるようになった。当日、緊張していたが、他クラスのレクやクラスメートの盛り上がりによって後押しされて最後まで踊りきることができた。この経験が修学旅行一番の思い出となった。こんな体験ができたのは、下校までレクの練習許可を出してくださった先生や当日のスタジオの設置に協力してくださったホテルの皆さん、周りの人の支援のおかげだと思っている。たくさんの人に感謝して、自分も支援する側の人間になれるよう努力していきたい。

(5組 男子)



私は中学の修学旅行以来2回目の沖縄でした。でも、中学の時とは全然違う場所を訪れたので、とても楽しく、いろいろな経験ができました。朝食や夕食のホテルのbuffetはどれもおいしくて、日頃家で食べる量より多く食べてしまいました…。昼食では、ずっと食べたかったソーキそばや八重山そばなど沖縄らしいご飯を食べることができ満足しました。海を見る機会も多くて嬉しかったです。当たり前だけど、兵庫の海とは全然違って、すごくキレイで透明感があって、見ただけで心が落ち着きました。砂浜も真っ白でサラサラしていてとてもキレイでした。修学旅行に行く前までは、不安もい

っぱいありましたが、4日間とても楽しく健康に過ごすことができ、買いたいものも買え、食べたいものも食べることができ、行きたいところも行くことができ満足でした!!

(5組 女子)

今回の修学旅行を尾崎先生の言われた3つの観点から見ると、基本的にはどれもできていたと思う。でも、今になって振り返ると、連絡が伝わっていなかったとはいえ、時間に遅れたり、準備や片付けを人任せにしてしまうこともあったので、周りを巻き込んで自分も楽しめるようにしていきたい。ただ失敗だけでなく学べたことや楽しめたことも多くあった。米田先生がおっしゃったとおり、レクに対しての熱意はすごかったと思う。自分自身、副室長としても割と動けたと思う。何より普段とは違う環境での体験は多くの学びがあった。修学旅行での成果はこれから先にも生かしていきたいと思うし、逆に不足していた部分は反省して改善したい。総じて今回の修学旅行はとても楽しかった。正直竹内先生のクラスだからこそ、ここまでふざけられたと思うし、怒られる覚悟でやらせてくれたことに感謝したいと思う。

(6組 男子)

修学旅行では、4日間でたくさんの経験をさせてもらい、本当に一生の思い出に残るものとなりました。特に印象深かったのが、3日目夜の学年レクです。それぞれのクラスが一生懸命準備をし、成功させたいという熱気のこもった気持ちで会場が一杯だったのを今も覚えています。私たち6組は多くのグループにわかれて出演したため、舞台裏で自分の出番を待つ時間が長かったのですが、その時に嬉しいことがありました。それは、クラスメイトの出番の前には「がんばれ!」、出番が終わると「お疲れ様!」と言葉を掛けたり、手拍子をして盛り上げていたことです。そんなの当たり前だと感じる人もいるかもしれないけど、私にとっては6組のみんなの優しさや温かさ、そして絆を再確認できた瞬間だったので、とても嬉しい気持ちになりました。そして全てのプログラムが無事終わり、そのときの学年の空気感是一体感に包まれ、とてもすばらしいものでした。改めて、36回生で良かったと思えました。この36回生という学年団として、それぞれの進路に向かって、全員で進んでいきたいと思いました。

(6組 女子)



玉取岬展望台&竹富島にて

【 今後の行事 】

2月	
6日(木)	教育相談日
11日(火)	建国記念の日
14日(金)	1、2限授業、大掃除、入試会場準備
17日(月)	推薦入試（登校禁止、敷地内立入禁止）
18日(火)	代休（2/1 総合学科発表会）
20日(木)	教育相談日
22日(土)	推薦入試合格発表
23日(日)	天皇誕生日
24日(月)	振替休日
26日(水)	学年末考査（～3/4 まで）、卒業式準備
28日(金)	卒業式

保護者の方にも必ず読んでもらってください！